

各 位

株式会社シンプレクス・テクノロジー  
(コード番号:4340 東証一部)

## 松井証券、「SPRINT」導入により 大手ネット証券として初めて大証 FX に参入

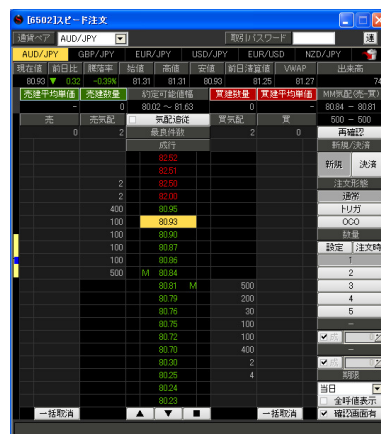
～大証 FX 取引参加者 9 社のうち、8 社がシンプレクスの「SPRINT」を採用～

株式会社シンプレクス・テクノロジー(本社:東京都中央区 代表取締役社長:金子英樹 以下:シンプレクス)が UMS 事業(\*1)の一環として金融機関に提供している個人投資家向けインターネット取引サービス「SPRINT」(\*2)大証 FX 対応版が、松井証券株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:松井道夫)に採用されました。

シンプレクスは、松井証券に向けて、注文から約定までのスピードを重視したリッチクライアント(\*3)PC 版「SPRINT Pro」とウェブブラウザ版「SPRINT Web」を 2010 年 2 月上旬より提供する予定です。なお、大証 FX(\*4)への大手ネット証券の参入は松井証券が初めてとなります。

### ■「SPRINT」大証 FX 対応版の主な特長

- 対顧客・社内管理機能、帳票類をオールインワンで提供
- リッチクライアント、ウェブブラウザ、携帯ブラウザに対応
- 業界最強の発注機能を搭載  
板発注、チャート発注、複合発注(IFD、OCO、IFDOCO)、指値、成行、指成など多彩な執行条件に対応。
- フルアウトソースで高信頼性を誇る安定したサービス運用
- 完全従量課金モデルを採用した ASP コースを設定  
初期費用と月基本費用が発生するカスタムコースの他、初期費用と月基本費用を無料とし、取引枚数に応じて課金をおこなう完全従量課金モデルを設定。FX 事業者はシステム投資リスクを低減しながら、短期間で大証 FX に参入可能。



▲板画面イメージ

株式会社シンプレクス・テクノロジー (東証一部:4340 <http://www.simplex-tech.co.jp/>)

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目ビルディング 15 階

■サービス導入に関するお問い合わせ先

営業担当:藤野・溝渕

eMail: [info@simplex-tech.co.jp](mailto:info@simplex-tech.co.jp) Tel: 03-3278-6756

■報道関係の方からのお問い合わせ先

広報/IR 担当:平田

eMail: [ir@simplex-tech.co.jp](mailto:ir@simplex-tech.co.jp) Tel: 03-3278-6750

## ■大証 FX 取引参加者 9 社のうち、8 社が「SPRINT」を採用

大証 FX 対応版「SPRINT」は、すでに岩井証券、インヴァスト証券、光世証券、コスモ証券、そしあす証券、ひまわり証券、豊証券に採用されており、今回の松井証券で採用社数は合計 8 社となります。加えて、今後大証 FX に参入予定の FX 事業者複数社からも内定を得ております。シンプレクスは今後も大証 FX 取引参加者に向けて、引き続き「SPRINT」の営業を強化してまいります。

## ■用語解説

- \*1 UMS(ユーエムエス)事業とは、「Universal Market Service(ユニバーサル・マーケット・サービス)事業」の略称です。シンプレクスが自社で企画・投資(開発・保守・運用)を行い、そのシステムを SaaS 型サービスとして金融機関に提供する事業です。「成功報酬型」の課金体系を採用している点が特長です。SaaS(サーズ)とは、「Software as a Service(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)」の略称であり、開発ベンダーが自社でシステムを開発・運用し、そのシステムが実現する機能をネットワークを通じて顧客に提供する仕組み・サービスのことを指します。
- \*2 SPRINT(スプリント)とは、シンプレクスの個人投資家向けインターネット取引サービスの総称です。
- \*3 リッチクライアントとは、専用のソフトウェアをダウンロードすることで、標準的なウェブアプリケーションよりも高い操作性・表現力・機能性を実現するアプリケーションの総称です。
- \*4 「大証 FX」とは、大阪証券取引所の取引所 FX 取引の愛称です。FX とは、外国為替証拠金取引のことを指します。証拠金(保証金)を元手に通貨を買い(売り)、為替が有利に変動したときに売る(買う)、為替相場の変動により生じた差額で利益を得ようとする外貨投資の一種です。取引所 FX 取引とは、OTC(相対取引)の様に FX 事業者と直接取引するのではなく、取引所にて行う為替取引を指します。